

1年間の主な行事

4

- 入学式
- 前期始業式
- 生徒会入会式
- 修学旅行(3年)



5

- 教育実習I(前半)
- 梅の収穫・販売、菊づくり



7

- 志賀高原 宿泊学習(1年)
- 飛騨高山 宿泊学習(2年)
- 個別懇談会



8

- 教育実習I(後半)
- 教育実習II



10

- 前後期終始業式
- 附中祭



11

- 松本城清掃



12

- 個別懇談会
- 附中メモリアルコンサート



1

- クラスマッチ(1・2年)
- 3年生を送る会
- 後期終業式
- 卒業式



2

3

生徒会活動・部活動・主な受賞

生徒会・委員会

- 本部役員会 ○代議員会 ○校風 ○図書 ○学芸 ○体育応援
- 新聞会誌 ○清掃美化 ○放送 ○環境園芸 ○保健 ○附中祭実行
- ベルマークボランティア

令和7年度の主な受賞

【国語】

- ・2025年度「小さな親切」作文コンクール 佳作2名
- ・松本の子どもの短歌・2025 空穂会賞4名
- ・日本漢字能力検定 合格者数
2級2名、準2級7名、3級20名、4級17名、5級13名

【社会】

- ・令和7年度 中学生の「税についての作文」
松本税務署長賞1名、中信県税務所長賞1名
- ・独立行政法人国際協力機構主催国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2025中学生の部 佳作1名
- ・第44回全国中学生人権作文コンテスト松本地区大会
優秀賞1名、優良賞1名、佳作5名
- ・第44回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会 奨励賞1名

【数学】

- ・実用数学技能検定 合格者数
3級8名、4級4名、5級4名

【理科】

- ・長野県学生科学賞作品展覧会 入選5名
- ・松本市科学作品展 出品12名

【英語】

- ・第43回長野県中学校英語弁論大会 第3位1名
- ・実用英語技能検定 合格者数
2級7名、準2級プラス2名、準2級19名、
3級47名、4級32名、5級23名

【部活動等】

○合唱部

- ・第92回NHK全国学校音楽コンクール
兼第39回長野県学校合唱大会 長野県大会 奨励賞

○吹奏楽部

- ・第24回中部日本個人・重奏コンテスト長野県大会中学生部門
長野県大会 金管七重奏 銀賞

○男子バスケットボール部

- ・令和7年度長野県中学校新人バスケットボール大会(中信地区)
決勝トーナメント 中信ベスト8

○水泳部

- ・第64回長野県中学校総合体育大会夏季大会水泳競技大会
入賞多数
- ・第46回北信越中学校総合競技大会水泳競技
女子200m個人メドレー7位

○陸上部

- ・第64回中信陸上競技大会
1・2年女子4×100mリレー4位、共通女子走高跳2位
2年男子100m4位
- ・第53回中南信地区陸上競技新人大会
共通男子4×100mリレー8位、共通女子走高跳7位
共通女子200m6位

○スキー

- ・2026 全日本ジュニアスキー選手権大会
フリースタイル競技 男子スキークロス1位

本校駐車場入り口は、
北部交番の対面になります。



令和9年度 入学生徒募集要項

1. 募集人員

第1学年入学生 男子35名程度 女子35名程度 計70名

2. 志願者資格

松本市及び近接する市町村に、保護者と共に居住する学齢該当児童で、本校へ徒歩、自転車及び公共交通機関を利用して自力で通学できる者

3. 出願の受付

- (1) 受付期間 令和8年10月20日(火)～10月22日(木)
- (2) 受付時間 9:00～11:30 13:00～15:30
- (3) 受付場所 信州大学教育学部附属松本中学校 事務室 ※保護者と簡単な面接を行います。

4. 出願の手続き

- (1) 志願者の保護者が、上記受付場所へ直接出向いて出願する。
- (2) 入学願書(用紙)の入手方法
 - ・8月24日(月)より各小学校に郵送。各小学校を通じて配布。本校事務室でも配布する。
 - ・本校ホームページからダウンロード(9月上旬掲載予定)し、印刷した用紙に記入してもよい。用紙の種類は指定しない。
- (3) 出願の際に、次の5点をご提出ください。
 - ① 入学願書…必要事項を記入し、顔写真を貼り、在学する小学校長から在学証明印を得たもの。
 - ② 住民票1通…家族全員が記載され、令和8年9月1日以降に交付されたもの。
 - ③ 入学検定料…現金で5,000円。
 - ④ 現金領収書用紙…保護者氏名、志願者氏名を記入したもの。
 - ⑤ 返信用封筒1枚…角形2号 240mm×332mm：A4判の文書がそのまま入る大きさのもの。
※530円切手を貼り、郵便番号、保護者の住所・氏名・様まで記入したもの。

5. 選抜検査

- ・内 容 4教科(国語、算数、社会、理科)の学力検査(各教科20分)及び面接
- ・日 時 令和8年11月23日(月祝)(8:30～13:30頃を予定)
- ・場 所 信州大学教育学部附属松本中学校
- ・持ち物 上はき用運動靴、鉛筆、消しゴム、直定規、昼食(必要な志願者)、入学願書受付証
- ・検査結果 簡易書留による郵送で保護者に通知します。(令和8年12月4日(金)頃発送予定)
※本年度は追検査を実施しません。

6. 令和9年度入学生保護者説明会

- ・日 時 令和8年12月18日(金)14:30～15:30
- ・場 所 本校体育館
- ※入学者選抜検査の結果、入学予定者に内定された児童の保護者を対象に説明会を行います。入学確約書をご持参の上、必ず出席してください。詳細については検査結果とともに郵送で通知します。
- ※本校への入学を辞退される場合は、12月11日(金)正午までに連絡をお願いいたします。

本校が目指していること

本校は、信州大学教育学部の附属学校としての使命や独自の行事がいくつかあります。それらを人間形成のための大事な機会ととらえ、日々の教育活動に活かしています。

1. 学校目標

「たくましく心豊かな地球市民 ～自主・創造・愛他～」

心身ともにたくましく、心が豊かで、国際的・地球的な視野をもち、かけがえない生命と地球を守り、社会・人類の幸福に尽くすことができる人間を目指します。また、「たくましく心豊かな地球市民」となるために次の三つの基本的な生き方の生徒像を目指します。

- 自主……自ら求め、そのことになりきる生き方に努める生徒
- 創造……自ら考え、つくり出そうとする生き方を育む生徒
- 愛他……自らを省み、他を思いやり、自他ともによりよく生きようとする生徒

2. 附属学校としての使命

本校は、一般の公立学校と同様に、教育基本法及び学校教育法に基づいて生徒の教育を行うほか、附属学校として、右の三つの使命を担っています。

- (1)教育実習…信州大学教育学部の学生の教育実習を行う。
- (2)教育研究…先進的な教育の理論及び方法について実践研究を行う。
- (3)現職教育…公開研究会や教育研究会を行い、地域の現職教育に役立てる。

3. 主体的に学ぶ生徒の姿を目指す学校

- 学校職員がチームで、生徒の学びと育ちを支援します。
- 生徒の傍らに教師が共にある、師弟同行を大切にします。
- 授業や学校生活の中で輝く生徒の姿を求めて、教師は日々研鑽を積み、授業力をはじめとした実践力を高めています。
- 信州大学と連携した実践研究の中で、生徒が学ぶ楽しさ、探究するおもしろさを実感する場づくりを工夫しています。
- 学校通信、学年通信等により、学校の様子や生徒の学びの成果を、保護者の皆様と共有します。



4. 様々な人とのかかわりの中で学ぶ学校

- 信州大学の様々な学部との連携により、先端研究や留学生との学びを取り入れ、多様な価値観に触れながら協働する力を育み、学校目標の具現を目指しています。
- 教育実習の期間中は、実習の先生方と共に学びを深めます。
- 附属松本中学校園として、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校を貫く12年間の教育課程の中で、物事の本質に向かって、自分らしく探究していく力を育みます。
- 地域の方々をはじめとした外部講師との出会いにより、本物に触れ、自分の世界を広げます。



5. いじめを許さない学校

- いじめに対しては、全職員が一丸となって対応し、それを助長したり、傍観したりする行為も許しません。小さな不安や困りごと等、どんなことにも、必ず親身になって相談に応じます。
- 生徒や保護者の皆さんへの定期的なアンケート調査や教育相談を行い、いじめ等の早期発見に努めると共に、生徒が日頃から不安や困りごとを訴えやすい環境をつくります。
- クラスや学年はもちろん、全校や各委員会など、様々な場でいじめについて、生徒自身が考えたり、考えたことを発信したりする機会を大切にします。

6. あたりまえのことをあたりまえにできる学校

- 「5分前行動、3分前着席、2分前学習」 …「時を守る」
- 私語を慎み、時間いっぱい、気を利かせ（清掃活動） …「場を清める」
- 挨拶、返事、会釈の励行 …「礼を糺(ただ)す」

附属松本中学校の学び

協働的に学び、次なる問いへ
～生徒の振り返りの記述より～

「粘り強く考え続ける力」の育成をめざして
～数学科での学び～

先日の授業では、「展開と因数分解」について学びました。学習問題は、「 x^2-5x+6 が、 $(x-2)(x-3)$ になるのはなぜか」というものでした。私は乗法の公式を利用して、 $ab=6$ 、 $a+b=-5$ までは求めることができましたが、そこからaやbの値を求めるところが難しく、立ち止まってしまいました。そこで、これまで学習した方程式を利用すれば解決できるのではないかと考え、その式から方程式を作ろうとしました。しかし、二乗の項を含む式が現れ、今まで学んだ知識だけではうまく解くことができず、自分の考えだけでは限界があることを感じました。

その後、先生からすぐに答えを教わるのではなく、いくつかのヒントをもらいながら考え続けました。そして、 $ab=6$ となる組み合わせを挙げ、その中から $a+b=-5$ となるものを見つければよいという考え方にたどり着き、無事に因数分解することができました。

答えを知ってしまえば比較的単純な方法でしたが、自分で試行錯誤しながら答えにたどり着いたことで、理解がより深まったように感じます。また、わからない問題に出会ったときには、すぐに諦めたり答えを求めたりするのではなく、これまで学んだ知識を組み合わせながら粘り強く考えることの大切さやおもしろさを実感しました。今回の授業を通して、一つの見方だけではなく、さまざまな角度から問題を捉えることの重要性も学ぶことができたので、これからも自分なりの考えや見方を大切にしながら学習を進めていきたいです。



「笑顔でつなげる幸せ」の実現をめざして
～総合的な学習の時間の取り組み～

私は「笑顔でつなげる幸せ」という総合のクラス目標実現のために、3年間「子ども食堂」をテーマに活動してきた。初めは「困っている人が行く場所」という他人事のようなイメージをもっていた。それを変えたのは、地域で子ども食堂を運営されている方の言葉だった。「子ども食堂は、誰が来ても楽しめる場所。もし困っている人だけが来るような雰囲気だったら、本当に困っている人も来づらくなる。」それを聞いた私は、自分の認識のズレに気付かされた。

実際に行って手伝いをする中で、子ども食堂が、年齢や立場を越えて人が集まり、思いやりの行動が自然と連鎖していく空間であることを知り、自分たちの手で子ども食堂を開いてみたいという思いが強くなった。そして、多くの方々の支援を受け、附属中で実際に子ども食堂を開くことができた。当日、約300人もの人に参加し、たくさんの笑顔や会話、つながりが生まれる空間を作り上げることができた。私達だけでなく、協力してくださった方々の思いやりが重なり合い、それに全力で応えてくださったお客さんのおかげだと思う。その一つ一つの思いやりが誰かの笑顔を生み、地域を少しずつあたたくしていくのだと実感した。だからこそ、私はこれからどんなに小さなことでも人のために思って行動できる人でありたいと思う。そうした行動の積み重ねが、誰かの幸せを生み、社会をより良くしていくのだと、この3年間の探究を通して学ぶことができた。

